

☆視 点

欧州におけるポリプロピレン繊維の業況---2011年

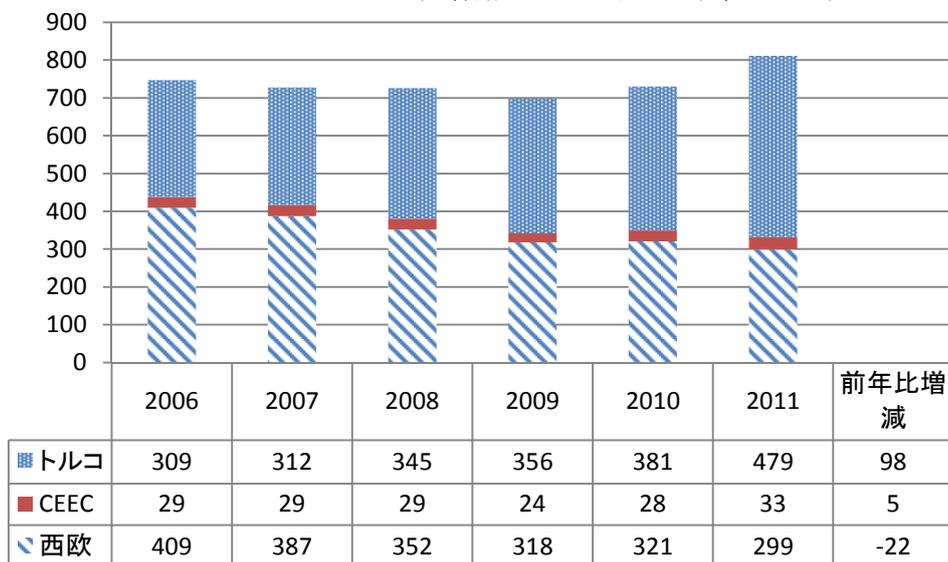
欧州ポリオレフィン繊維協会（EATP：The European Association for Textile Polyolefins）は、2011年の欧州全体のポリプロピレン繊維の業況を発表した。概要は以下の通り。

1. ポリプロピレン長繊維の動向

①生産能力

西欧における2011年のポリプロピレン（以下「PP」）長繊維の生産能力は前年比2.2万トンの減の29.9万トン、2006年比では27%減となった。この2.2万トンの内訳はドイツ、スペイン、ポルトガルでの生産能力縮小によるものである。一方、中・東欧諸国（CEEC）の2011年の生産能力は2010年比5,000トン増の3.3万トンとなった。また、トルコは右肩上がりに増加、2011年は同比9.8万トン増の47.9万トンとなった。

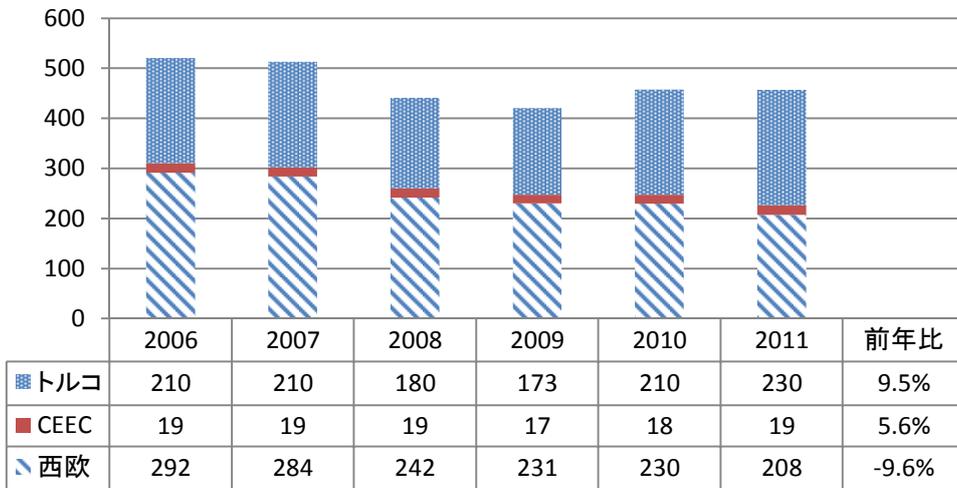
ポリプロピレン長繊維の生産能力（1,000トン）



②生産

2011年のPP長繊維生産は前年比9.6%減の20.8万トンとなった。長期的に減少が続いている。トルコは前年比9.5%増の23.0万トンと西欧を上回る水準となった。

ポリプロピレン長繊維の生産量（1,000 トン）



③ 消費

西欧における 2011 年の PP 長繊維の消費は前年比 5%減の 24.6 万トン、そのうち 62%がカーペット用途である。

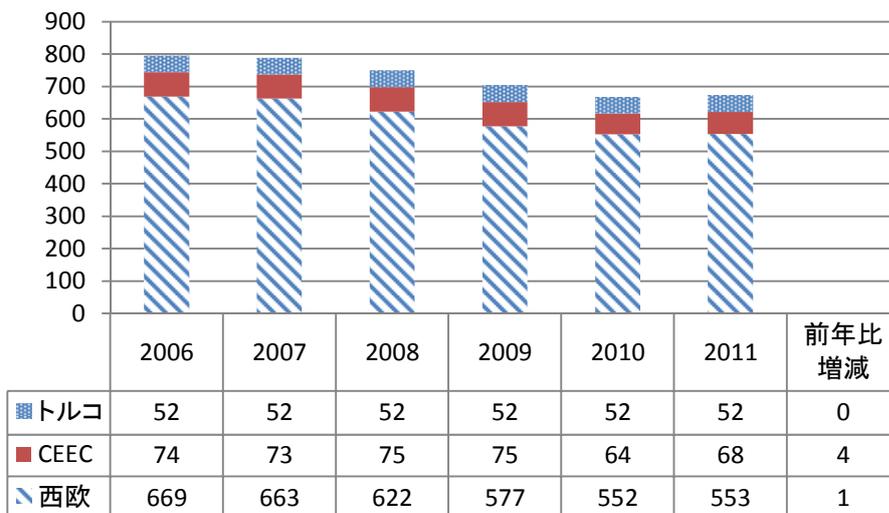
2. ポリプロピレン短繊維の動向

① 生産能力

西欧の 2011 年の PP 短繊維の生産能力は 2010 年比 1,700 トン増の 55.3 万トンとなった。しかし 2012 年はベルギーの生産能力縮小により、2.6 万トン減の 52.7 万トンとなる見込み。

CEEC においても 2011 年の同生産能力は 2010 年比 4,000 トン増の 6.8 万トンであった。

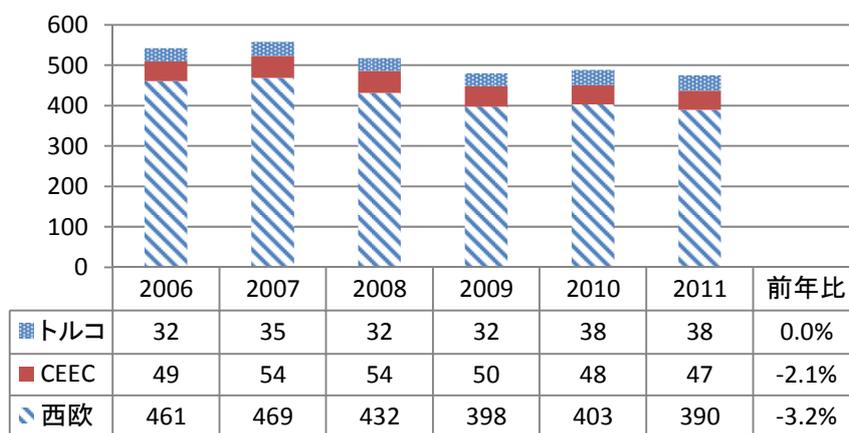
ポリプロピレン短繊維の生産能力（1,000 トン）



② 生産

2011年の西欧のPP短繊維の生産は前年比3.2%減の39.0万トントンとなった。トルコは前年比横ばいの3.8万トントンと安定していた。

ポリプロピレン短繊維の生産量（1,000トントン）



③ 消費

2011年のPP短繊維の消費は、特にカーペットや家庭用品分野において減少したことで前年比6%減の37.1万トントンとなった。一方で医療、衛材用途における消費は安定していた。

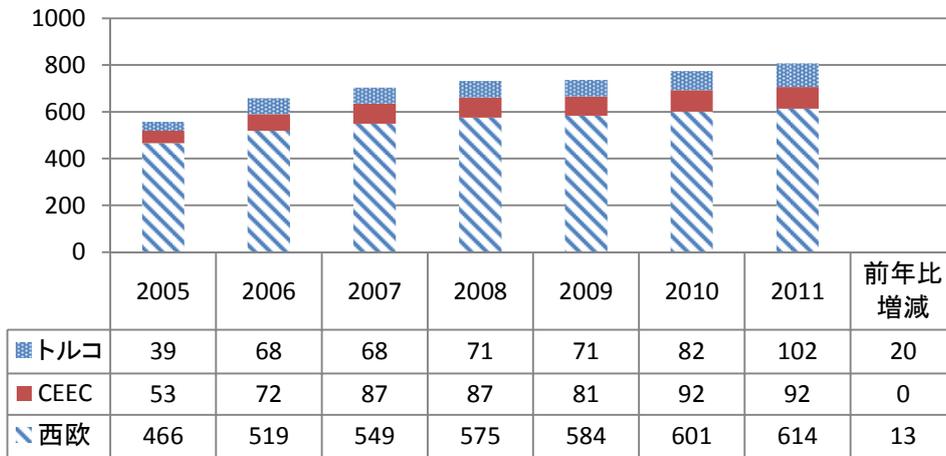
3. PPスパンボンド不織布とPPメルトブロー不織布の動向

① 生産能力

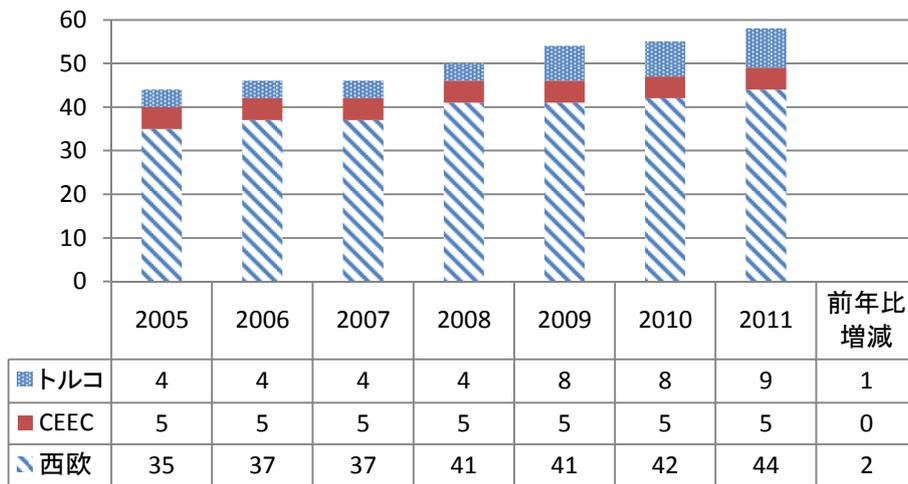
2011年の西欧のスパンボンド不織布とメルトブロー不織布の生産能力の合計は2010年比1.5万トントン増の65.8万トントン、トルコでは同2.1万トントン増の11.1万トントンとなった。2012年は、トルコやCEECの生産能力は横ばいであるが、西欧は8,000トントン減となる見込み。

CIS諸国においては、2011年のスパンボンド不織布とメルトブロー不織布を合計した生産能力は3.3万トントン、生産量は2.7万トントンであった。2012年の同生産能力は9,000トントン増となる見込み。

PP スパンボンド不織布の生産能力（1,000 トン）



PP メルトブロー不織布の生産能力（1,000 トン）



②生産

2011年の西欧のспанボンド不織布とメルトブロー不織布の生産は前年比2%減の60.6万トンとなった。なお稼働率は82%と前年より5%低下した。

（担当：技術グループ 兼 業務調査グループ 川名）

以上